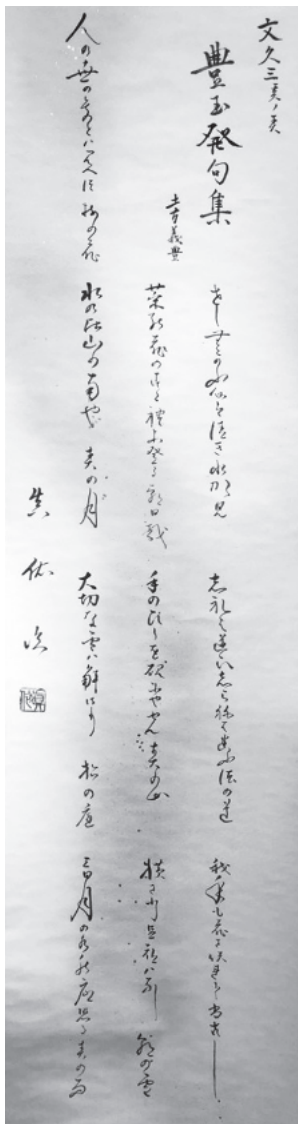


中央大学書道會

題字 / 法学部3年 市川朱里

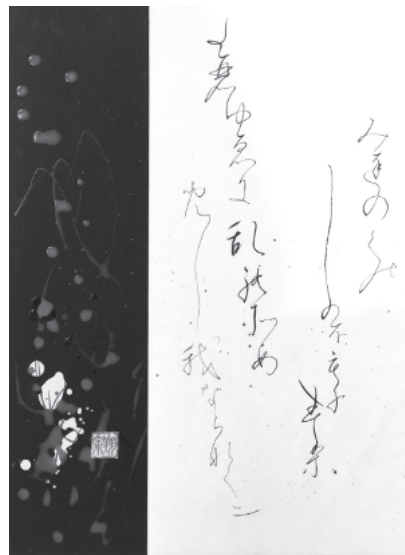
せせらぎ書展

8月17日から19日まで、東京・多摩センターのパルテノン多摩市民ギャラリーにて書展を開催しました。1年生にとって初めての出品の場となりました。今回はその中から仮名作品に焦点を当てて、4作品をご紹介します。



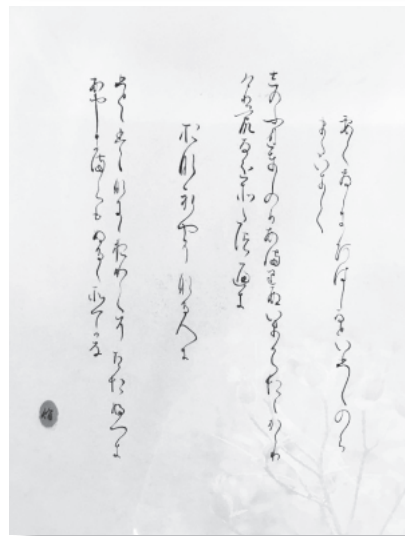
◎臨
商学部1年 石金眞依

土方歳三の俳句を臨書しました。初の仮名作品のため変体仮名を確認しつつ、繊細に書きました。



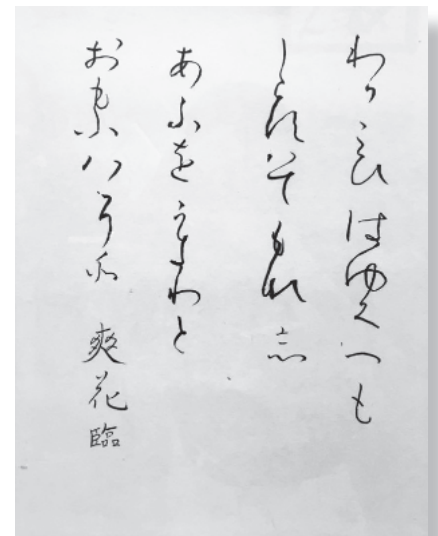
◎創
法学部1年 鏑木翔

この和歌を詠んだ人はどんな気持ちだったのかという事を自分なりに想像し、色の比と模様で表現しました。



◎臨
文学部1年 黒田侑果

ずっとやりたかった仮名にチャレンジできて、とても楽しかったです。



◎臨
文学部1年 大橋爽花

恋の行方は誰にも分からない。恋の甘酸っぱさを流れるように書いている感じが気に入ったため臨書しました。

こんにちは、中央大学書道會です。秋もめっきり深まってまいりました。今回は、文学部パフォーマンス、^{てんこく}篆刻会・色紙会、せせらぎ書展の様子をご紹介します。

後期を迎え、白門祭での中大書展・書道パフォーマンスに向けて、これからより一層活動に邁進していきます！



さて、書道會では書展の他にも様々な活動を行っています！ 半紙に向かって筆を握るだけでなく、書道に対して色々な角度からアプローチできるのもまた書道會の良いところです。男子の身長程ある大きなパネルに向かって、大きな筆で字を書っていく書道パフォーマンスや、印を彫る篆刻会、色紙サイズの作品をみんなでわいわい制作する色紙会など…。普段なら体験できないようなことも楽しめます！

文学部パフォーマンス



書道會の文学部有志で書道パフォーマンスを行いました！ 少人数ではありましたが、ダンスをしたり、カラフルな可愛らしい作品を完成させたりと、華やかなステージになりました。来てくださった方々、ありがとうございました。

篆刻会・色紙会



「篆刻」とは、書道作品に欠かせない「印」を、石に彫って作ることをいいます。印には主に自分の名前を入れるため、自分だけのオリジナルなものを作ることができます。難しく見えますが、作業は簡単！ 参加した会員は、黙々と作業を行い、印を完成させていました。

この篆刻会と同時に開催したのが色紙会です。初心者で大きな作品を書くのは少し怖い…、練習する時間があまりない…、そんな方々へ向けての企画。色紙は小さくて、気軽に書くことができるので、大人気なんです！ 色紙会で制作した作品を1つ紹介します。

◎創「我達人」 経済学部3年 川島綾佳

「我、人と逢うなり」、人との出会いの尊さを表した言葉です。色紙の中心を意識して書きました。

